

協議会設立20周年記念シンポジウム開催結果

●日時: 2023年3月6日(月) 13:00~17:00
●場所: ホテル阪神大阪10階 ザ・ボールルーム
●アーカイブ配信: あり(3月8日より配信開始)
●参加者数: 73名(内、一般(非会員)23名)
●主催: けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
●協賛: 情報通信技術研究交流会(AC・Net)
●概要: 3年ぶりにリアルで開催した。今年度は協議会設立20周年となる節目の年であり、基調講演の中で、20年間の協議会活動を振り返り、成果をご紹介いただいた。現実世界(フィジカル空間)とサイバー空間が高度に融合した未来社会において、サイバネティック・アバターとサイバーセキュリティの接点に着目し、両者の技術の組み合わせが経済合理性のある持続的な社会の実現にいかに関与するかについて、講演とパネルディスカッションを通じてご議論いただいた。一般から23名のご参加があり、協議会会員のみなならず、一般の方の今回のテーマへの関心の高さが伺われる。遠隔コミュニケーション技術及び遠隔操作型ロボットに関する二つの新たなWGの立上げ等により、本協議会の活動を活性化させ、2025大阪・関西万博に向けた産学官連携の強化に向け、関係者との連携を図って参りたい。

●プログラム
テーマ: 現実世界(フィジカル空間)とサイバー空間が高度に融合した未来社会を展望する～サイバネティック・アバター×サイバーセキュリティの活用により可能となるエコシステム～
開会挨拶: 村尾 和俊(当協議会 理事長、西日本電信電話株式会社 相談役)
基調講演: 「現実世界(フィジカル空間)とサイバー空間が高度に融合した未来社会におけるサイバネティック・アバターの役割とは」
萩田 紀博氏(大阪芸術大学 芸術学部 アートサイエンス学科 学科長・教授)
特別講演1: 「現実世界(フィジカル空間)とサイバー空間が高度に融合した未来社会におけるサイバーセキュリティの役割とは」
吉田 真紀(情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所 セキュリティ基盤研究室 主任研究員)
特別講演2: 「新技術の活用による事業創造・未来社会の実現に向けた提言」
田中 昭二氏(デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社 大阪オフィス 執行役員、関西経済連合会ベンチャー・エコシステム委員会副委員長)
パネルディスカッション: 「サイバネティック・アバター×サイバーセキュリティの活用により可能となるエコシステムとは」
パネリスト: 萩田 紀博氏、吉田 真紀、田中 昭二氏、モデレーター: 内元 清貴(当協議会 運営・研究部会長、情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所長)
閉会挨拶: 井上 知義(総務省 近畿総合通信局長)



開会挨拶 村尾 和俊 (当協議会 理事長)



基調講演 萩田 紀博氏 (大阪芸術大学)



特別講演1 吉田 真紀 (情報通信研究機構)



特別講演2 田中 昭二氏
(デロイト トーマツ コンサルティング)



パネルディスカッション パネリスト: 萩田 紀博氏、
吉田 真紀、田中 昭二氏、モデレーター: 内元 清貴



閉会挨拶 井上 知義
(総務省 近畿総合通信局長)